

型入れと切り分け



2 の混合物を型に注ぎ、室温に約 24 時間ほど置いて固めます（環境により異なる場合があります）。急速に温度が下がると苛性ソーダとベース油が十分に反応しないため、タオルなどで型を包み保温してください。



約 24 時間後、型入れから固まった混合物を取り出し、好みのサイズに切り分けます。さらに冷暗所で約 4 週間、熟成・乾燥させると、石けんの完成です。
 (写真の石けんは、**2** の混合物を 2 つに分けて片方を色素で色付けし、ひとつの型に併せ入れて固めたもの)

注 意

使用する油の性質によって熟成期間は異なります。

アン・マリー・ケントさんからのアドバイス

手作り石けんは材料を自分で選べるので、使うのも安心です。自分好みの色や香りを着けることもでき、作る楽しみもあります。しかし手作り石けんの材料となる苛性ソーダは、強アルカリ性で使い方によってはとても危ないものなので、使用する際は必ずゴーグルと手袋を着用し、換気の良い場所で作業してください。

油と苛性ソーダの分量で でき上がる石けんの 使用感が異なる

使用する油の種類や配合比率、苛性ソーダの分量などにより、でき上がった手作り石けんの使用感は変わります。いろいろな油を試してみて、自分の好みに合った石けんを作るのも手作り石けんの楽しみの 1 つです。使用する油に対する苛性ソーダの分量は、例えばキャノーラ油 (500g) に対しては約 63g、マカダミアナッツ油 (500g) に対しては約 66g など、油の種類によって多少異なります。下記に、スーパーマーケットなどで手に入れ易い油 (500g) に対して、必要な苛性ソーダの分量を表にまとめました。今回、紹介した油以外で石けんを作る場合は参考にしてください。

**【 油 500g に対して必要な苛性ソーダの量
（石けんの中に苛性ソーダが残留しない目安の量） 】**

アボカド油	約 65g
オリーブ油	約 64.5g
キャノーラ油	約 63g
グレープシード油	約 63.5g
サンフラワー油	約 64g
セサミ油	約 63g
ピーナッツ油	約 65.5g
マカダミアナッツ油	約 66g

一般的に、上記の表の値よりも苛性ソーダの量を少なくすることで未反応の油が残り、基本的にしっとりとした石けんになります。また、苛性ソーダの分量が表の値よりも多いと苛性ソーダの成分が石けんに残留し、肌荒れなどの問題を引き起こすことがあります。ただし、使用する油の種類によっても石けんの性質は変わります。